

監訳にあたって

森 臨太郎・コクランジャパン・前代表

急激な人口高齢化や、より環境に配慮した持続可能な発展、そして、次々と生まれる新しい医療技術により、医療を含めた社会保障のあり方は方向転換が求められています。医療のあり方をこういった時代の流れに合わせて適切なものにしていく活動は、先進国、途上国問わず、全世界共通であり、さまざまな場で話し合われている状況です。

根拠に基づく医療、すなわち、客観的にしっかりとした研究結果に根差しつつ、医療における意思決定を患者・市民や家族、医療従事者を含めて、民主的な方法で進めていくことを提案してきた、コクランの哲学は、このような医療の改革の核となりつつある状況です。

そういった中、医療が真に患者や市民にとって、そして未来の市民社会のものになるために必要なのは、市民社会そのものが責任と力を持つことです。

コクランを設立した Iain Chalmers は、コクランの活動を進める中で、結局は、市民に一人一人が自ら意思決定に参加するだけの力を持つことこそが、コクランの提唱した医療のあり方を進める意味で、最も大切な点だととらえ、コクランから離れられたあと、最も力を入れられてきました。

そのために書かれたこの本は、無料で公開され、内容はマルチメディアとしても発信され、何ヵ国もの言語に翻訳され、コクランの動きと裏表のようになって発展してきました。

10年以上も前に Iain Chalmers から日本語翻訳のお話をいただいた時から、ずいぶん時間がたってしまいましたが、コクランジャパンの設立と同時に、翻訳に取り掛かることができ、感慨深くしております。

専門家ではなく、市民が、医療における診療方針が、どういう研究に立脚しているのか、こういった情報がより確かなものなのか、ということが分かりやすく書かれています。さまざまな場面で活用できますので、ぜひご活用いただければと思います。

もし内容に問題があったり、またこんな使い方ができるといったような発展のアイデアがあれば、ぜひコクランジャパンまでお知らせいただければと思います。

2019年9月25日